

てんり市議会だより

今回の定例会

まほろば



2017年6月1日号 No.80 3月定例会の内容をお伝えします。

※題字については、第59回天理市展において議会議長賞を受賞された西田理恵さんにお書きいただきました。



CONTENTS

TOPIX ～特集～	2
こんなことを話し合いました	3
お金の使い道が決まりました	10
こんなことを質問しました	11
こんなことが決まりました	15



2月17日、早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏を講師に迎え、「天理市議会は市民から何を期待されているか？」をテーマに、議員研修会を開催しました。

TOPIX

特集

●平成29年4月臨時会●

市議会の新しい体制が決まりました

4月20日に開催された臨時会において、新しい議長・副議長及び監査委員が決まりました。また、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行い、新体制としてスタートしました。

【議長】 大橋 基之

【副議長】 市本 貴志

【監査委員】 中西 一喜



議長就任あいさつ

新緑の候、市民の皆さま方におかれましては、健やかに過ごしのことと存じます。平素は市議会に温かいご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、去る4月20日の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長の要職をお預かりすることになり、身に余る光栄であるとともに職責の重大さを痛感しております。本市においても、地方創生の更なる進展や財政問題等、克服すべき多くの課題を抱えておりますが、先人が築き上げた文化や歴史を再発見し、未来へつなげていくとともに、「つながり、にぎわい・未来を創造するまち」を実現するため、新体制のもと、議員一同協力し合い、より一層の努力をいたす決意であります。

どうか今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

議長選挙結果 (投票総数17票)	副議長選挙結果 (投票総数17票)
大橋 基之 16票 荻原 文明 1票	市本 貴志 16票 荻原 文明 1票

委員	委員	委員	副委員長	委員長	経済産業委員会
中西 一喜	今西 康世	廣井 洋司	内田 智之	榎堀 秀樹	

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	文教厚生委員会
荻原 文明	飯田 和男	市本 貴志	加藤嘉久次	鳥山 淳一	堀田 佳照	

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	総務財政委員会
大橋 基之	寺井 正則	岡部 哲雄	三橋 保長	仲西 敏	東田 匡弘	

常任委員会

会派の紹介

創 未 清	生 来 風	◎鳥山 淳一 ◎加藤嘉久次 ◎飯田 和男 三橋 保長 堀田 佳照	○仲西 敏 ○岡部 哲雄 ○内田 智之 市本 貴志 大橋 基之	今西 康世 榎堀 秀樹 廣井 洋司 東田 匡弘 中西 一喜	◎…幹事長 ○…副幹事長
無 会 派	寺井 正則	荻原 文明			

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会運営委員会
仲西 敏	中西 一喜	東田 匡弘	加藤嘉久次	内田 智之	飯田 和男	

議会運営委員会

こんなことを話し合いました

開会日(3月1日)

市長提案

●会期の決定

会期を3月17日までの17日間と決定しました。

●監査報告

監査委員より3件の監査報告がありました。

●承認案

承認案1件が上程され、原案どおり承認しました。

●提案説明

今議会に提出された33議案について、市長より提案説明及び新年度の施政方針が行われました。



再開日(3月3日)

委員会付託

●委員会付託

上程された議案のうち、25議案を各常任委員会に付託し、また8会計予算については、予算審査特別委員会を設置して付託し、審査することとしました。

●文教厚生委員会

・国民健康保険特別会計補正予算
ほか 計11議案を付託

●経済産業委員会

・土地区画整理事業特別会計補正予算
ほか 計7議案を付託

●総務財政委員会

・一般会計補正予算
ほか 計7議案を付託

●予算審査特別委員会

・一般会計予算
ほか 計8議案を付託

再開日(3月13・14日)

代表質問・一般質問

●代表質問

未来

・加藤 嘉久次 議員

●一般質問

・仲西 敏 議員
・今西 康世 議員
・東田 匡弘 議員
・鳥山 淳一 議員
・堀田 佳照 議員
・荻原 文明 議員
・寺井 正則 議員

※11～15Pに要旨を掲載しています。



最終日(3月16日)

採決

●人事案件

人権擁護委員の推薦の諮問案及び副市長、監査委員、固定資産評価員、固定資産評価審査委員会の委員の選任また教育委員会の委員の任命の同意案が上程され、それぞれ原案どおり承認及び同意しました。

●委員長報告

所管委員会及び予算審査特別委員会に付託されていた33議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

●反対討論

3議案について、荻原議員より反対討論がありました。

●採決

33議案について、いずれも原案どおり可決しました。

●意見書

意見書4件について、提案者の説明後、原案どおり可決しました。

※議決結果については、15Pに掲載しています。

文教厚生委員会

3月6日

付託議案の審査概要

学童保育条例の一部改正について

丹波市第1学童保育所、丹波市第2学童保育所、及び山の辺学童保育所を移転し、また、前栽第4学童保育所を新たに設置するため、本条例を改正しようとするもの。

意見・要望事項

学童保育所に通う児童が増加しているため、地域・学校と協力し、学校の敷地内や校舎内に施設を設置することによって放課後の児童たちの安全を守るよう要望。

みんなの手話言語条例の制定について

手話を第1言語とする方の社会参加と相互理解の促進を図るため、本条例を制定しようとするもの。



犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等の支援に関する基本事項を定め、市及び市民等の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等の総合的な支援を推進するため、本条例を制定しようとするもの。

意見・要望事項

犯罪被害者等の支援について、教育現場での取り組みを推進するとともに、関係機関との連携を密にするよう要望。

国民健康保険条例の一部改正について

新たな分離課税区分が創設されたことに伴い、他の所得と区分して計算する所得に係る規定の見直しをするとともに、国民健康保険の被保険者間の保険料負担の公平性の確保及び中低所得者層の保険料の負担の軽減を図る観点から、賦課限度額の見直し、及び保険料軽減判定所得の拡充を図るため、所要の改正をしようとするもの。

反対意見

国保制度の都道府県化にあたり、必ずしも保険料をすぐに統一化する必要はないということ、また中間所得層の負担をさらに高めるものであるということから反対であるとの意見。

いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について

いじめ防止対策推進法の規定に基づき、天理市いじめ問題対策連絡協議会、天理市いじめ・問題行動等対策委員会、及び天理市いじめ問題再調査委員会を新たに設置するため、本条例を制定しようとするもの。

意見・要望事項

児童・生徒と教師との相互の意見交換の場、お互いの信頼関係につながるコミュニケーションの場を設けるよう要望。

詳細は

天理市の
ホームページ



天理市議会



会議録の検索と閲覧

よりご覧ください



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●堀田委員長

Q インフルエンザ予防接種の減免について。

A 高齢者のインフルエンザ予防接種は、国の法律で定められた定期予防接種のため、天理市が公費負担している。万が一、健康被害が出た場合は、国が保証する。子どもの予防接種は、任意接種で本人と医療機関との合意のもとに契約するため、保証問題が発生する場合もあり、公費負担がどうかといった検討が必要となる。インフルエンザにかからないように、予防啓発に努めていきたい。

(健康福祉部次長)

Q 公民館へのWi-Fi・無線LANの設置について。

A すでに樺本公民館には設置している。防災拠点、地域コミュニティの場でもあり、「にぎわい創造の場」として、順次、既存の公民館へも予算の許す範囲で設置の検討をしていきたい。

(生涯学習課長)

●内田副委員長

Q 各学校と幼稚園の通学路の安全対策について。

A 各学校・園では、安全が確保されているかを春と秋の交通安全期間に合わせ、定期的に点検している。それによって、要注意箇所を抽出し、要望事項と共に学校教育課に提出してもらい、それを受けて、「天理市通学路安全推進会議」において対策を検討・協議し、各担当部局で決定・実施している。また合同調査が必要な場合は、学校関係者、市教育委員会、道路管理者、警察などが集まって合同点検も実施している。

(学校教育課長)

Q 今年度の対策の進捗状況はどのようになっているのか。

A 本年度、春と秋の2回の通学路点検で、市内の各校、園からあげられてきた要注意箇所は全部で63箇所あった。そのうち本年1月の時点で、改善・手配済み箇所が18箇所、改修率が約28%、現在、調査中及び今後対策予定箇所が40箇所、63.5%である。残る約7.9%の箇所についても、引き続き検討・協議が行われている。今後子どもたちの安全を第一に考えて各部局と連携し、通学路の安全管理に努めてまいりたいと考えている。

(学校教育課長)

●加藤委員

Q 公立保育所では、毎日の送迎において、ご両親以外の方が来られたときには、どのように対応しているのか。

A 両親以外が迎えに来られるときは、必ず連絡帳に名前と続柄を書いて、事前に連絡ももらっている。これからも、子どもたちの安全を守る方法を検討していく。(児童福祉課主幹)

●今西委員

Q 先般、天理本通りで火災事故が起こった。被害を受けられた方々に対して、環境面ではゴミ問題があるが、福祉面ではどんな支援をしてあげられるのかできるかぎりの支援をお願いしたい。

A 社会福祉の関係では、見舞金の制度があります。

(社会福祉課長)

Q かがやきポストに投稿された内容及びその対策について。

①子どもの勉強のことで学校の先生に相談したが、塾へ行きなさいと言われ塾を勧められた。
②子どもが早く帰ってきたので、今日はなぜこんなに早く帰ってきたのか聞くと、先生の研修があるから自分たちは早く帰ってきたと言った。またある授業のとき、子どもたちがやかましかったので、先生は静かになるまで出ていくと言われ、子どもがそ

のまま置いていかれたことがあった。本当にそのようなことがあったのか。この内容を知っているのか。また回答はされたのか。

A 学校に確認させていただく。必要な場合には回答させてもらっている。ニュアンスが違うこともあるので、丁寧に声がけして、指導するように、いろいろな場で伝えている。

(学校教育課長)

要望 丁寧に親切に回答していただきたい。天理市は学校が荒れていないと外部から評価されている。先生、子どもたち、家庭の人たち等、まわりの環境をよくすることによって、子どもたちの成績も上がり、学力も向上すると思う。お互い次世代を担う子どもたちのために努力をしていこう。

●荻原委員

Q 無料低額診療事業は、低所得者や要保護者、ホームレスやDV被害者、人身取引被害者などの生活困窮者に対して、無料または低額で医療の診療を行うというものであるが、天理市メディカルセンターで実施することをお願いしたい。

A 現在メディカルセンターは公的な医療機関で減税措置等の対象とならない医療施設である。無料低額診療は指定管理の当初

の予定にはなっていないが、指定管理者との話し合いの中で意見があったということは伝えたい。

(健康福祉部次長)

Q 就学援助制度の入学用品の支給時期について、新学年になる前に支給することを検討していただきたい。

A 国から平成29年度の予算案という形で通知がおりてきており、上牧町、王寺町、河合町は早めの3月以前に支給をしている。天理市では状況を見ながら検討をしたい。(学校教育課長)

Q 要保護世帯については、就学援助金の増額が予定されているが、準要保護世帯についても就学援助金の増額が必要である。

A 国は増額を予定していると聞いている。準要保護の家庭に関しては、他市の状況も見ながら検討していきたい。

(学校教育課長)

Q 公民館で今後、住民票の発行等公共サービスを提供する施設としての役割を持たせることについて、お尋ねする。

A 福祉公民館では住民票の取次ぎをしている。住民サービスの部分で、公民館で行えることがあれば関係部署と相談したい。

(生涯学習課長)

経済産業委員会

3月7日

付託議案の審査概要

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部改正について

市内各地域の意見を均衡に反映し、農地等の利用最適化をより円滑に進めるため、農業委員の定数を1名増とするよう本条例の改正をしようとするもの。



市道路占用料に関する条例及び法定外公共物管理条例の一部改正について

道路法施行令が改正され、道路占用料の額が見直されたため、同政令の趣旨を踏まえ、本条例の改正をしようとするもの。



市道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき、10路線の認定をするため、議会の議決を求めるもの。

意見・要望事項

認定路線に違法駐車がないよう要望。



天理市、山添村、川西町、三宅町及び田原本町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の変更について

田原本町のやまと広域環境衛生事務組合への加入に伴い、一般廃棄物の処理事務の委託に係る本規約の一部を変更することについて、協議を行うため、議会の議決を求めるもの。



メガソーラー施設及び天理駅前広場を
現地視察



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●榎堀委員長

Q 本通り商店街で大きな火災が発生した。春には、天理教の行事も様々予定されているが、それに併せて通行する方々が増えることが予想される。二次災害が起こらないように行政ではどのような対応を考えているか。

A まずは、被災された方々に対してお見舞いを申し上げたい。行政としては、防災対策、二次災害の防止、被災された方々に対しての生活再建、そして、商店街の復興という観点から協議を行っている。今後、火災予防という意味で地元商店街、三島・川原城地区の皆様や消防と連携しながら検討会議を開催したいと考える。
(副市長)

●東田副委員長

Q 高齢者の方の事故が新聞等で出ている。小学校の生徒が集団登校する下ツ道、上ツ道、橋街道など、かなり道が狭く、車も多く通っている。今後、事故

が起こらないように、電柱を地下に埋設するようなことは、天理市として考えているのか。

A おそらく電線共同溝のことだと思うが、天理市で計画している路線等はない。(監理課長)

Q 今後、通学路の点検を、警察、地域の方と協議して、地下に埋設するようお願いする。

A 通学路については、学校教育課が中心になり、天理市通学路交通安全プログラムを作成し、年2回の会議を実施している。貴重なご意見をいただいたので、対策の1つとして、対策会議に臨んでまいりたい。(監理課長)

要望 年2回の対策会議で協議していただき、できるだけ埋設してもらいたい。(監理課長)

●廣井委員

Q 天理駅前広場が4月よりオープンするが、従来開催していたマルシェは今後どうするのか。

A 平成29年度は今までと同様、天理駅前において、回数を増やし定期的に行う予定。

(農林課長)

Q 今までは軽四トラックの荷台を利用してしたが、今後は車の乗り入れが困難で、陳列方法等変更が必要である。また、山口県岩国市では、中心部のアー

ケード街において、商店の休日に、軽トラック15台余りによる軽トラック市「軽トラ新鮮組」という名称で月1回開催されている。大変な人気となっている。商店街の活性の源となっている。天理本通りのアーケード街でもそのような企画をしてはどうか。

A 天理駅前が完成し、駅前だけでなく、本通りにも集客できれば、本通りの発展、購買意欲にも繋がるため、今後アーケード組合の方々と検討していきたい。(環境経済部次長)

●中西一喜委員

要望 昨年、視察した善光寺周辺や伊勢市のように、本市も駅から天理教本部までの参道を参道らしく、行政側も本部へ参拝に来られる方々を迎える努力をしてほしい。

Q 市営住宅の空家は20%ぐらいということだが、それに対しての内装工事や改築の進捗はどうなっているのか。

A 高齢者が多いが、今後若い方も入居希望が増えてくることを考えて、耐用年数を過ぎたものの建て替えや、民間住宅の空家をストックに活用するなど、検討しているところである。
(住宅課長)

要望 市営住宅の空家から火事等の予期せぬ事故や事件が起こる前に、積極的な対応をしていただくよう要望する。

●仲西 敏委員

Q 官民連携で常設マルシェ成功の岩手県紫波町オガール、北海道富良野市の事例について、見解は。

A 平成29年度の天理マルシェは、委託料を予算計上し、行政主導から官民一体化となる。

Q 名阪側道の進捗具合は。

A 工期的には遅れており、5月末に完成予定。(建設部長)

Q 喜殿町と南六条の通学路安全対策はどうか。

A ボタンを押すと横断中と表示する電光標示板をつける。

Q 北大路線の進捗具合は。

A 北大路線は5月に現工事を完了。小路南池東側の市道へは平成29年度中に接続。

Q 接続する市道が狭い。安全対策上の整備はどうか。

A 西側からの大型車を規制し、接続の市道も路肩を整備。

Q 前栽小学校の北側の市道1号線の浸水対策は。

A (まちづくり事業課長)

A 平成29年度中に排水路を整備する。
(土木課長)

Q 日本遺産の申請状況は。

A 桜井市と共に今回は、「国のまほろば」で再度申請した。

要望 天理のすばらしい歴史文化を観光振興にしっかりと役立てるよう要望する。

Q 公共施設の老朽化対策について、その更新コストは莫大な費用が予想される。今後の見通しについて見解は。

A 上水道は40年の計画を立て、更新コストを抑えるため、廃止・統合や長寿命化も考えている。極力いまの料金単価を維持するが、収益が減り施設の更新費用は残るので、経営的に苦しくなる時が来ると考える。

Q 建設部は、橋など関係施設について、国の方針を受け、更新時期を避け長寿命化事業を進め、事業費の平準化を図り、更新計画を進める。(建設部長)

要望 本市も総合管理計画を作成し、公共施設をブランド・ドゥ・チェック・アクションで見直し、状況と更新コスト負担について市民への説明責任と公共施設マネジメントの一層の推進が必要。

(上下水道局長)

Q 建設部は、橋など関係施設について、国の方針を受け、更新時期を避け長寿命化事業を進め、事業費の平準化を図り、更新計画を進める。(建設部長)

要望 本市も総合管理計画を作成し、公共施設をブランド・ドゥ・チェック・アクションで見直し、状況と更新コスト負担について市民への説明責任と公共施設マネジメントの一層の推進が必要。

(まちづくり事業課長)

Q 前栽小学校の北側の市道1号線の浸水対策は。

A (まちづくり事業課長)

Q 前栽小学校の北側の市道1号線の浸水対策は。

A (まちづくり事業課長)

総務財政委員会

3月8日

付託議案の審査概要

平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2億5175万9000円を減額。

○歳出の主な内容

- ・老朽化した山の辺小学校屋内運動場の改修工事
- ・定年前早期退職者及び自己都合退職者の増加による退職手当の増額
- ・各特別会計への繰出金の確定及び各種事業費の確定に伴う補正
- ・国庫補助金または県補助金の確定による事業費の調整

○歳入の主な内容

- ・税交付金、国庫支出金、県支出金、基金繰入金、繰越金、市債の補正

等

○前栽学童保育所、及び柳本学童保育所において、平成29年4月から入所者の増加が見込まれるため、施設を整備し、受入定員の増加を図ることに伴う指導員の増により、平成29年度から平成30年度までの人件費に相当する指定管理料の増額分について債務負担行為を追加するもの。

○財産区財産管理事業をはじめ、年度内に完了が見込まれない20事業について、繰越明許費を設定しようとするもの。

意見・要望事項

個人番号カードについて、その普及促進にしっかりと取り組むよう意見。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

特別職の職員で非常勤のものとして、新たに消費生活相談員及びいじめ・問題行動等対策委員会の委員並びにいじめ問題再調査委員会の委員を設けるとともに、これまで別々となっていた文化センターの運営審議会と市民会館の運営審議会を合わせることに伴い、審議会委員の区分を「文化センター・市民会館運営審議会の委員」とするため、所要の改正をしようとするもの。

詳細は

天理市のホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

税賦課徴収条例等の一部改正について

「地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律」等の一部を改正する法律」が公布され、消費税率の10%への引き上げが、平成31年10月1日に決定されたことに伴い、法人住民税の法人税割の税率の引き下げ、自動車取得税の廃止に伴う軽自動車税の環境性能割の導入、個人住民税の住宅借入金特別税額控除の適用期限の延長等、所要の改正を行うもの。

財産の減額貸付けについて

嘉幡町の温水プール等のスポーツ施設について、引き続き有効活用を図るため、維持管理に係る費用の負担を条件に当該財産を減額し貸付けするに当たり、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるもの。



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●岡部委員

Q 先日、本通りで火災が起きたが、それに対する行政の支援策は。

A 4棟10軒の火災だったが、幸いにも負傷者が無かったことが救い。罹災に対する見舞金や減免、生活の場の確保として、住居の提供の相談などのサポートを行っている。（総務部長）

Q 市長がタウンミーティングで説明された前栽駅のエレベーターの進捗状況はどうか。

A 予定通り、平成29年度の予算に、設計に対する近鉄側への補助金を計上している。来年度に、工事に入ることになっている。（総合政策課長）

●寺井委員

Q 天理本通り商店街の火災被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。商店街の密集地域で起こった火災であり、昨

年末に起こった新潟県糸魚川市の大火災の例もあることから、大変心配した。本通り商店街の空き家の状況や、高齢者などの災害時要援護者の状況をどのようにに掌握しているか。また、消火栓や非常ベルの設置状況などはどうなっているのか。

A 空き家・空店舗の状況など、今後行っていたく再発防止会議で調査をお願いしたいと考えている。その中で、消防署からいろいろな注意・指導等していただき、今後、商店街における火災の再発防止・予防に努めたいと考えている。消火栓は川原城町に33力所あり消防の水利は満たしている。災害時要援護者は市内全体で4,200名の対象者がおり、約1,900名の方から同意をいただいている。さらに、登録の増員に取り組んでいく。（防災課長）

要望 特に、店舗や住宅の密集地域での火災は、延焼の恐れがあり大火災に発展することもある。対応マニュアルなどを作るので、再発防止に努めていただきたい。

Q 住宅用火災警報器は、火事の時に逃げ遅れによる被害を防

ぐ効果があり、本市において、特に、災害時要援護者（高齢者・障がい者等）に優先的に設置すべきであると、平成23年から数年の期間にわたって独り暮らしの高齢者等を対象に火災報知器の設置・配付を行ったが、その実績は。また、本市における住宅用火災警報器の設置率は。

A 平成23年度は390世帯、442個の火災報知器の設置・配付を行った。また、消防の調査結果によると、設置率は平成26年度の調査では63.5%である。（防災課長）

Q 住宅用火災警報器設置の啓発はどのように推進するのか。また、今後ますます高齢者が増加する傾向にあるので、災害時要援護者等を対象に、設置助成等をする考えは。

A これまでと同様に、天理消防署と連携をとって、周知・啓発に取り組んでいく。設置助成等については、今後、検討する。（防災課長）

●鳥山委員

Q 駅前広場、それから団体待合室についての管理体制について。

A 指定管理者は東洋テックTEAM TENERIが、駅前広場と駐輪場、観光物産センターを管理。食と旅の拠点施設の運営はディライト、広場内の駐車場は天理市開発公社の3社。

Q 市民の方への発信の方について。（総合政策課主幹）

A 駅前広場の概要、申請手続、3カ月間のイベントのスケジュール等のパンフレットを取りまとめ、発信する。

Q 市役所1階のロビーにあるデジタルサイネージディスプレイを天理駅へ移動する考えは。

A 駅前の広場が竣工後に持つて行く予定である。（総合政策課主幹）

Q 駅の西側への予算が組まれていたが、進捗状況は。

A 街づくり協議会天理駅西ゾーン部会のもとで田井庄池公園の活用を中心に、いろんな協議をしている。（総合政策課主幹）

Q ふるさと納税について、市の財政としてのプラスは。

A 納税額は3,000万で、経費としては、返礼品の費用、

インターネットポータルサイト利用料を含む一括代行の経費、クレジットカードの手数料で約50%の経費がかかる。単純計算で残りの50%がプラスになる。（総務部次長）

要望 少しでも市の財政が潤うよう、引き続き取り組みに力を入れて欲しい。使途については、納税者の希望（教育福祉の充実に合うよう願う）。



平成29年度予算案をチェック

お金の使い道が決まりました

再開日の3月3日に、平成29年度一般会計予算ほか7会計予算を審査するため、9人の委員からなる予算審査特別委員会を設置し、委員長に市本議員、副委員長に内田議員が互選されました。付託された8予算案については、3月9日、予算審査特別委員会を開催し、審査しました。

予算審査特別委員会委員

◎市本 貴志 ○内田 智之 岡部 哲雄
飯田 和男 堀田 佳照 大橋 基之
荻原 文明 中西 一喜 鳥山 淳一

◎…委員長 ○…副委員長



予算審査特別委員会

3月9日

一般会計予算 249億4000万円

特別会計予算 141億6100万円 企業会計予算 75億9500万円

意見・要望事項

一般会計予算

総務費

・白川ダム周辺地域交流施設について、短絡的な発想ではなく、思い切った発想と提案でにぎわいをつくれる交流施設建設に向け取り組んでほしいとの意見。

・安全安心のため、防犯カメラの更なる増設と空き家の活用及び危険な特定空き家の防犯対策をするよう意見。

民生費

・社会福祉法人等の地域振興計画の策定にかかわって、高齢者が集まれる場所を増やすためにも運営費への補助を増加するようとの意見。

・保育所の待機児童解消のため、公立保育所の新増築の必要性について検討するようとの意見。

・電子母子手帳について、多様な情報発信を行い、子育て世代への広報を充実させるよう意見。

農林費

・鳥獣被害防止対策について、農業者の意見も反映した対策を行うよう意見。

商工費

・観光コンシェルジュについて、できるだけきめ細やかな案内をするようとの意見。

・創業支援事業について、商工会へ働きかけ、全事業所調査を行うよう意見。

教育費

・柳本幼稚園園舎耐震補強工事について、1年半もの長期にわたり、園児が柳本小学校に通園することについて、市民に丁寧な説明と対応を行うようとの意見。

・文化財の展示について、天理市が自信をもつて出せる数多くの文化財のうち、人が興味をもって集まれる物からレプリカを作成し、公開していくべきとの意見。

・園庭改修事業については、毎年1園ずつでも園庭芝生化を実施するよう要望。

国民健康保険特別会計予算

反対意見

給付の公平性の観点から傷病手当の支給が必要であること、また、保険料の賦課限度額の引き上げについては、市民の負担増につながるなどの理由で、反対するとの意見。



市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。

その主な内容をお伝えします。(11～15P)

こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。

[天理市のホームページ](#)

[天理市議会](#)

[議会中継 \(動画\)](#)

[会議録の検索と閲覧](#)

代表質問

未来

加藤 嘉久次 議員

- ・福祉避難所について
- ・広域的な周遊観光について

一般質問

仲西 敏 議員

- ・福祉に関する事業について (高齢者を中心に)
- ・教育の諸課題について
- ・公民館と住民自治について

今西 康世 議員

- ・天理市の人口減少と税金、またその対策について
- ・働き方改革について

東田 匡弘 議員

- ・天理市における交流人口の拡大について
- ・いじめ防止に向けての取り組みについて

鳥山 淳一 議員

- ・魅力のある住みよいまちづくりについて

堀田 佳照 議員

- ・龍土山の活性化について
- ・荻原 文明 議員
- ・再生可能エネルギー等の普及促進について

荻原 文明 議員

- ・公営住宅建替えについて
- ・JR無人駅の活用について
- ・テレワークについて

寺井 正則 議員

- ・歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりプロジェクトについて
- ・安定的な供給を確保するための水道事業について
- ・子どもの医療費助成の現物給付について

新しく総合防災マップが
できました

天理市 総合防災マップ



天理市

家族みんなで安全について、話し合おう

福祉避難所について



未来 加藤嘉久次 議員
(一括質問)

○ 避難所の中でも福祉避難所という考え方が、阪神大震災・東日本大震災の後、急速に進んできている。この福祉避難所は、災害弱者である高齢者、障害者、乳幼児、その他の特に配慮を要する者(要配慮者)を滞在させることが想定されるものであり、要配慮者の円滑な利用の確保、要配慮者が相談し、また助言その他の支援を受けることができる体制の整備、要配慮者の良好な生活環境の確保を目的として設置されているが、天理市の現状・課題について、質問する。

① 本市の福祉避難所については、バリアフリーや和室の有無を考慮した上で、小学校区に1か所を目安に、市内10か所を福祉避難所として位置付けている。現在考えている問題と課題としては、本市の福祉避難所は、指定避難所との兼用となっており、要配慮者の方々がストレスなく生活できる環境に向けて、障害者、高齢者用のトイレの確保を含め、今後一層の取り組みが必要と考えている。今後、市内の介護老人福祉施設などの防災協力事業所から、福祉避難所への医療・介護従事者の人材派遣等のご協力をいただくなど、民間福祉施設などとの連携を図りつつ、障害の区分やニーズに応じてきめ細やかな対応ができるよう対策を講じてまいりたい。(総務部長)



仲西 敏 議員
(一問一答)

高齢者福祉について

Q 介護予防・日常生活支援の総合事業と、平成30年4月からの介護保険料をお聞かせします。

A 要支援1・2の方で、サービス内容等で大きな変更はありません。介護保険料は、今年第7期の介護保険事業計画策定に伴い決定します。

Q 独居高齢者や高齢者のみの世帯数と元氣な高齢者の健康維持対策をお聞かせします。

A 独居高齢者は約3800名、高齢者のみの世帯が約9900世帯。元氣な高齢者への健康づくり対策は、ふれあい教室、いきいきはつらつ教室の実施、介護予防リーダーの養成にも取り組めます。団塊世代の高齢化には関口が広い取り組みが重要です。(市長)

放課後・土曜学習について

Q 中教審では、放課後や土曜日、体験的な学びは非常に価値が高いと報告。その視点で新たに取り組む朝朝小学校、井戸堂小学校、機本公民館での活動をお聞かせします。

A 朝朝小学校のサタデースクールは、自主的な宿題・復習を指導。井戸堂小学校では、放課後わくわく広場で、水曜日に宿題の後、集団遊びや工作などを行っています。機本公民館の放課後活動は、学習塾「町力塾」でプレ実施され、6年生の児童25名の参加がありました。(教育長)

Q 放課後講習「まなびタイム」をお聞かせします。

A 学習習慣の定着等を目指し、平成29年度から小中学校で、放課後の時間に教職員や地域のボランティア等が連携して学力補充の講習会を行います。(教育長)

公民館と住民自治について

Q 公民館数・職員数と、県内他市の状況をお尋ねします。

A 市立公民館は9小学校区に1館設置し、複数配置の校区を含め計12館で職員は臨時を含め32名配置。他市は概ね中学校区に設置され、奈良市は、奈良市生涯学習財団が管理運営し、生駒市は市立公民館を廃止し、コミュニティセンターに名称を変更しました。(教育長)

Q 地域コミュニティの核になる公民館も増えています。多様な住民のニーズに対応する新たな取り組みが必要ですか。

A 公民館を社会教育の場としてのみ捉えるのではなく、地域コミュニティの核として、福祉、子育てなどを公民館が担うことで、利用者も多様化し、政策分野も広がります。機本公民館では特産品の販売も始まり、新しい取り組みを強化することが、公民館で社会教育の活動を守る上でも重要です。(市長)

Q 新しい公共では、住民も公共サービスの提供者となります。行政は住民に場を提供し、権限移譲が住民自治の基本。より多様に12館で地域ごとのアウトリーチが出来ます。この枠組みは、市長部局で全分野に横断を刺し、公民館で住民自治に促せる施策につなげていく。それを検討する場が必要ですか。

A 地域コミュニティの核としての公民館の役割を見直して、様々な目的のために活用していくことで、まさに小学校区ごとに公民館を置く天理市こそが先進的な流れになろうと思います。公民館の適切な体制と機構は平成29年度に検討します。(市長)



今西 康世 議員
(一括質問)

天理市の人口減少と税金、またその対策について

Q 年少人口の減少と高齢化率の上昇はこれからの天理市行政にとって最重点課題。人口減少による負のスパイラルで地元経済が縮小し、税収の減。行政需要の増加が市の財政を圧迫。2060年の財政規模及び市税の状況について。

A このままでは2060年の推計人口が4万5千人、生産年齢人口が2万4千人に減少予想。個人市民税の減。高齢化に伴う老人福祉費の増加。歳入減及び歳出増の状況が続き、2015年に27億円規模であるものが半減しかねない。(市長)

Q 今後急速に進む人口減少問題について、どのような対策を講じられるのか。

A 地方創生総合戦略に掲げた4つの柱、子育て、教育環境の充実、雇用の創出等移住定住推進に向けた取り組みを積極的に進めていく。(市長)

Q 2060年の財政規模を確保するために、市民税等の財源確保に向け、今後市が取り組まれる具体的政策について。

A 産業活性化を促進すると共に、雇用の場や就業機会を創出する為の企業立地施策が重要。県市連携による工業ゾーン創出プロジェクトや6次産業立地推進事業の継続的な実施、2次産業、3次産業等一体的な推進を図る。そして移住定住促進事業としてアクティブシニア層の移住促進のための天理市版のCCRCの構築を目指します。(市長)

働き方改革について

Q 国は働き方改革実現会議を設置し、積極的に推進。県も働き方改革推進協議会を開催。天理市役所の実態は。

A 平成27年度時間外勤務実態は、全職員1人当りの月平均が9時間。本庁内の職員は12時間。時間外勤務削減目標の上限を超えるのは3部署です。(市長)

Q 次世代の人も安心して天理市に住む事ができる魅力あるまちづくりのためにも、他市町村より早く、働き方改革を推進し、市内で働きたい、市内に住みたいと思ってもらえるような取り組みについて。

A 本市の総合戦略の中で地域資源と新しい技術、多様な働き方を融合し、安心充実して働ける場の創出を柱に、地方創生に係る国の交付金事業により、ICTを活用した働き方の場、テレワークの拠点を産業振興館に開設。職員組合と共同し、天理市ワーケーション推進大使宣言を行う。働きながら私生活も充実。時間外勤務の削減や年次有給休暇、子育て、介護等働きやすい職場作りを推進しています。(市長)

Q 働き方改革についての議論を始める場として、協議会や委員会を設置されてはどうか。

A 働き方改革に特化した議論の場を検討していく。(市長)

要望 人生経験も知識も人脈も豊富で元氣な方々が天理市に沢山おられる。その人達に応援をしてもらい、また若者達の意見も反映できるような方法を考え、会議に若者が出席できるチャンスを工夫してほしい。他市町と条件や環境も違いますが、多くの人が安心して住み続けられる天理市に向かって知恵を出し合い一杯頑張ろう。

※CCRC

元氣なうちに地方に移住し、必要な時に医療と介護のケアを受けて住み続けることができる場所



東田 匡弘 議員
(一問一答)

天理市における交流人口の拡大について

Q 並河市長におかれましては、当選されてから3年5カ月が経ちましたが、この間、それぞれの状況に応じて、適切に判断し、施設整備などを行ってまいられ、また各地区のまちづくり協議会を立ち上げ、県市連携のもと地域資源などを活かしたまちの活性化に具体の取り組みもされています。駅周辺の活力にぎわい創出のための再整備が間もなく完成し、古墳をイメージした「コフン」なども来月にオープンされます。駅前周辺からまちの活性化などに直接結びつく交流人口の拡大についてお尋ねします。また、総合戦略の一つに「天理ならではの魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる」とあり、交流人口の拡大策として、①地域資源を活かした観光振興②新たな交流・集客の促進の取り組みをあげています。これらの施策の進捗状況及び所管課が課題としている事項についてご答弁をお願いします。

A 全国、そして世界に誇れるような自然・歴史文化遺産が本市にございます。また、スポーツ・音楽等様々な魅力があり、これらを組み合わせることで、交流人口の拡大を図り、まちの活性化に繋げていくことが大事です。現在、県が国際芸術家村構想を進めていただいております。こちらとも連携する形で天理駅前から山の辺の道沿いを結ぶエリアを芸術ゾーンとし、既存の施設やイベント等を活用しながら芸術文化に出会えるまち天理を目指して取り組みを行ってまいります。

Q 福住校区を中心とした高原地区のまちづくりについて、協議会で議論され、まちの活性化をめざす取り組みを順次されていることは承知しておりますが、それとは別に、私が交流人口などの増加を期待できるものとして、山田キャンプ場跡地について、かねてより吉野山のような「山桜の名所」にしてはと考えております。たとえば、福住・山田地区でボランティアの団体を立ち上げていただき、現在あるログハウスを事務所に活用していけば、高原地区の活性化にもつながっていくことができると思います。さらに、キャンプ場跡地は、名阪国道の福住・一本松インターから10分ほどの距離にあり、来訪者による交通量の増加があれば、食堂や喫茶店が開店される可能性もあります。全体として交流人口の拡大が消費にもつながり、ひいては地域の活性化にもつながると思います。

(市長)

Q 福住校区を中心とした高原地区のまちづくりについて、協議会で議論され、まちの活性化をめざす取り組みを順次されていることは承知しておりますが、それとは別に、私が交流人口などの増加を期待できるものとして、山田キャンプ場跡地について、かねてより吉野山のような「山桜の名所」にしてはと考えております。たとえば、福住・山田地区でボランティアの団体を立ち上げていただき、現在あるログハウスを事務所に活用していけば、高原地区の活性化にもつながっていくことができると思います。さらに、キャンプ場跡地は、名阪国道の福住・一本松インターから10分ほどの距離にあり、来訪者による交通量の増加があれば、食堂や喫茶店が開店される可能性もあります。全体として交流人口の拡大が消費にもつながり、ひいては地域の活性化にもつながると思います。

A 山田をはじめとする福住校区の活性化は、高原地区まちづくり協議会をはじめ、私どもも非常に重要な課題と認識しております。山田のキャンプ場につきましても諸制約はあるわけでございますけれども、議員からのご指摘をいただきました貴重なご提案、桜の名所構想につきましても、苗木の育成、あるいは、場内の整備等を含めて検討していきます。

(市長)



鳥山 淳一 議員
(一問一答)

魅力ある住みよいまちづくりについて

Q 未来を担う子どもを育てるまちづくりの観点から、総合教育会議及び市教育大綱で今年度どのような成果が見られたか。

A 市総合戦略の政策と連携、教育環境と子育て施策充実に関保幼小中学校の課題を整理。3回開催し、小1プロブレム及び中1ギャップ解消、体力向上、基礎学力の充実とICT機器の活用に入れた。

(市長)

要望 天理の大きな力である天理大学との連携、協定の強化をお願いする。

Q 福住小中学校の活性化に向け小規模特認校制度を導入、特色ある学校づくりを進めているが、複式学級の解消策や緩和策及び小中一貫教育の進捗は。

A 制度の導入で少人数でのきめ細かい指導、魅力ある学校づくりを進め新年度は計8人が転入学し、児童数42名で専科授業等を工夫し、複式学級解消を目指す。小中連携を重要と考え、9年間を見通した指導の充実に努めたい。

(教育長)

Q 中学校で不登校になることが多い、未然予防も含め市の不登校対応、ニート対策の現状等について。

A 小学校17名全児童数の0.5%、中学校41名28%、小は増加傾向、中は減少傾向。教育総合センターで、教育相談、ゆうフレンド派遣事業、適応指導教室・学校力ウンセ

ラー派遣等を拡充している。各校で不登校支援委員会を組織し学期ごとに対応。ニート対応は、同センターを中心に6課、庁外の教育・福祉、保険医療、矯正・更生保護、雇用関係の19機関で「子ども・若者支援てんりネットワーク」を組織、週1回開設の「夢てんり」で支援を実施。「若者サポートステーションやま」とで無料相談会をしごとセンターで月2回実施。相談者の中から13名が就職した。(教育長・環境経済部長)

要望 息の長い関わりで、困っている若者に目を向け対応をお願いする。

Q 市民アンケートから公園整備要望が5番目、子どもたちや保護者の方の居場所として市都市計画公園、特に天理ダム風致公園の状況はどのようなか。

A 都市公園は災害の防止や地域の世代交流の場所として重視、市に20あり大型はダム風致公園、長柄運動公園、神宮外苑公園。平成26年公園施設長寿命化事業を実施し、平成27年健康遊具の設置、来年度トイレ洋式化に向けた設計を計画。天理ダム公園は花見で有名、一昨年遊具の更新、バーベキュー施設を設置。今後公園施設の更新、遊具や照明灯の改修、古い転落防止柵の段階的改修予定。

(市長)

Q 本市への集客や高原地域の活性化に有効利用する方向と国際芸術家村近辺整備、サイクルロードとの結びつきについて。

A 天理ダム公園のさらなる活用は地形の急峻が課題。国道25号線が県広域サイクルルートに指定されており市の周遊観光事業との連携、県国際芸術家村の接続から活性化が期待できる。公園の認知度、利用度向上に公園の入口案内看板の充実や遊具の更新整備を順次進める。

(市長)

要望 大型公園の魅力を生かし、緑、水、砂場、大型遊具という要素を考慮して充実をお願いしたい。



堀田 佳照 議員
(一括質問)

龍王山の活性化について

Q 地域の強みを活かした、まちの活性化にむけ、歴史的魅惑や特色を持った貴重な地域資源として、龍王山の再発見、活性化を「古代・中世・現代」をキーワードに、古代を代表する山裾を南北に貫く「山の辺の道」や、柿本人麻呂の妻が眠っている登山道の古墳群、十市遠忠の居城として名高い中世の山城「龍王山城跡」、そして、現在では健康の道として愛好家のウォーキングイベントに活用されている。歴史の魅力にふれあい、自然に親しみ、健康増進を図るといった、一度に3つの体験を発信し、観光客や登山者を迎えることが、地域の強みを活かした活性化につながるのではないかとと思う。龍王山古墳群、龍王山城跡、長岳寺、トレイルセンター等、地域との協力を踏まえ、本市の活性化に向けた取り組みは。

A 龍王山は「古代・中世・現代」それぞれの魅力を一度に楽しめる個性的な観光資源で、龍王山を軽登山として楽しむだけでなく、柳本一帯をさまざまな形で楽しめるエリアとして発信していくことが大事であると考えている。快適な登山道や景観維持に地元の皆様や、県勤労者山岳連盟による清掃登山、天理教災害救援ひのきしん隊による登山道の整備等御協力をいただいている。トレイルセンターに

ついては、龍王山の登山口、山の辺の道とつなぐ拠点施設として運用していきたい。(市長)

Q 登山道には「山田の不動の滝」や円墳、横穴墳を合わせ600基以上の群集墳があり、主な墓の調査を県に働きかけ、整備や案内板の設置があれば観光スポットになるのではと思う。龍王山の由来となった柳本、田龍王社についても説明板の設置が必要であると思う。頂上の中世の山城「龍王山城跡」は県内でも規模が大きく縄張りの原型をほぼ完全にとどめており、城の歴史を知る貴重な遺構だといわれ、ここにも説明板の設置をお願いしたい。「じゃんじゃん火伝説」等、落城にまつわる様々な伝説もあり、ストーリーを、天空の城「竹田城」のようにお城ブームに乗る活性化対策につなぐことも大事ではないかと思う。城跡特別講演会の開催、城の三次元復元図を作りIT技術を利用したPR、山城を歩くトレッキングツアーとして、龍王山城攻略ツアー等様々な取り組みが考えられる。山頂からの景観維持のために更なる整備を求める。トレイルセンターに、龍王山の情報や魅力を発信するためのコンシェルジュとしての機能をもたせてもらいたい。

A 継続的に看板の設置、ルートの整備、ストーリーが楽しめる工夫が必要と考えられている。景観の維持のため、ご理解、ご協力を得て伐採も含め環境整備を行いたい。トレイルセンターを、地元食材を使った地産地消、周遊観光の拠点、特産品の販売地域情報発信といった重要拠点と考えている。龍王山のストーリーを発信し、実際に楽しめる仕掛けづくりを一緒に進めていきたい。(市長)



荻原 文明 議員
(一括質問)

再生可能エネルギー普及について

Q 昨年4月から電力購入の完全自由化が始まりました。市庁舎の新電力導入、個人住宅の太陽光発電等の再生可能エネルギー普及のための補助金支給についてお尋ねします。

A 新電力導入は平成29年度より入札による導入を予定している。再生可能エネルギーへの補助は国県の動向を見ながら検討したい。(市長)

市営住宅の建替えについて

Q 良好な居住環境の住まいを確保し、安心して住み続けたい、これは多くの人々の共通の願いです。しかし、所得に占める家賃の割合は高くなっています。市営住宅建替えをすすめるべきです。

A 現在、公営住宅は長寿命化に取り組んでいる。今後用途廃止だけでなく建替えや集約化も視野に入れながら総合的に検討したい。(市長)

JR無人駅の活用について

Q JR・近鉄の利用者が減少しています。鉄道駅はまちの玄関口です。公共交通の利便性を高め、利用を促進するためには、無人駅を解消し、駅舎への民間事業所の入居や、地域団体等による再利用有効活用が必要です。鉄道駅へのアクセ

スを改善するためのタクシー券発行も効果があります。

A まほろば線は重視しており、JRと利用促進の協議をしている。駅舎はまちづくりの拠点として一層活用できるものと考えている。(市長)

市職員のテレワーク導入について

Q 公務員の在宅勤務は勤務規程、公務災害等の検討をする必要がある。また請負だけの非正規雇用が拡大する懸念があります。

A 勤務の管理と評価については、常に管理職とコミュニケーションをとれる状態であるため、管理も可能。勤務規定は別に要綱を設け、組合との調整も行っている。臨時職員等非正規職員への拡大は期間任用のため考えていない。(市長公室長)

文化芸術振興拠点づくりについて

Q 文化芸術スポーツは、市民が生涯にわたって健康で文化的な生活を営む上で欠かせないものです。住民一人ひとりがこれらに親しんでこそ意義があります。市民の文化芸術活動を支援し、文化施設への専門家の配置が必要です。

A アンケート調査でも文化芸術スポーツ等にかかわっている方は、比較的定住志向が強く、そういった活動に市民をつないでいくことが重要。公民館、天理駅前広場、市民会館、文化センターも拠点として、力を入れていきたい。自主的に取り組んでいる皆様とも、みんなでまちを盛り上げるという視点から広報、場所の提供、団体間をつなぐ、いろんな点で一層取り組んでいきたい。(市長)



寺井 正則 議員
(一問一答)

安定的な供給を確保するための水道事業について

Q 水道台帳の整備の状況は。また、今後一
気に老朽化の波が押し寄せてくるといわれて
いるが、本市における見通しは。

A 平成18年度に管路、浄水施設等の台帳を
電子化した。管路の状況やお客情報等
を一元管理し、リアルタイムでデータの更新
を行っている。今後、全く更新をしなかつ
た場合、法定耐用年数を超過する浄水場等
施設の割合は、20年後に44%、40年後に
85%となり、管路では20年後に57%、40年
後には100%になる見通しです。(上下水道局長)

Q 水質の安全を確保する上で、早急な更新
が必要な鉛管とアスベスト管の交換は終
えているか。また、管路更新率や耐震管への取
換えの状況は。

A アスベスト管は、来年度で全て布設替
えを行う予定で、鉛管は平成36年度末までに全
ての取替えを完了する予定です。直近の管路
更新率は、管路全延長に対して平成25年度
0.64%、平成26年度1.10%、平成27年度0.38%です。
耐震管への入れ替えは、給水優先度が特に高
い施設への管路から順次進めています。基幹
管路の耐震適合率は、平成27年度末で30.2%と
なり、基幹管路の総延長57.03kmのうち17.2kmが耐
震化済みです。(上下水道局長)

Q 本市におけるアセットマネジメントの概
要は。

A 40年間の基本とし、施設の統廃合、施設・
管路のダウンサイジングを検討。法定耐用年
数よりも安全性の確保をもとに、厚労省が示
している実使用年数を本市の更新基準とし

した。また、合理的な更新費用の平準化につ
いても検討し、水道施設更新基本計画を策定
しました。(上下水道局長)

Q 安定供給のため広域連携や、官民連携(コ
ンセクション導入)についての考えは。また、
長期的な見通しに基づいた持続可能なサービ
スに見合う水道料金の設定についての考えは。

A 県等との協議を進める中で広域連携につ
いて検討していきます。官民連携については、
水道法の改正が図られているところであり、
総合的に踏まえて、今後の検討課題と認識し
ています。現段階では、一層の経営効率化に
努め、可能な限り市民生活への影響を生じさ
せないよう、努力してまいります。(上下水道事業管理者)

子どもの医療費助成の現物給付について

Q 子どもの医療費助成の現物給付を行って
いないのは奈良県を含めて全国で7県だけ
あるが、その理由は。

A 本市が単独で現物給付を行った場合、国
民健康保険への交付金に対するペナルティと
して4,000万円程度の減額調整措置が見
込まれ、また、システム改修に多大な経費が
かかることから、現物給付を行っていないと
ころです。(市長)

Q 子ども医療費助成の窓口無料化につ
いて県との協議を進める考えは。

A 本市も子育て世代の負担軽減の観点から
積極的に議論に参加したいと思っています。(市長)

※基幹管路

導水管、送水管、口径350mm以上の配水
管のこと

※アセットマネジメント

中長期的な水道施設の更新需要及び財政収
支の見通しを試算し、施設の重要度や健全
度を考慮して具体的な更新施設や更新時期
をあらかじめ定める

※コンセクション

施設の所有権を公共が有したまま、民間事
業者に当該施設の運営を委ねる方式。「公
共施設等運営権方式」



こんなことが決まりました

全員賛成で可決した議案

承認案
諮問案
同意案
議案
決議案

- 専決処分承認を求めることについて(条例の一部改正)
 - 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
 - 天理市副市長の選任につき同意を求めることについて ほか4議案
 - 28年度補正予算(7会計)・29年度予算(6会計)・条例改正(10条例)・条例制定(3条例)・条例廃止(1条例)
 - その他議案(3件) 計30議案
 - 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書について
 - 「介護保険制度の見直し」を求める意見書について
 - 精神障害者に公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書について
 - 無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書について
- ※採択した意見書については、議会の考えや意思を表明するため、内閣総理大臣等、関係機関に提出しました。

意見が分かれた議案

議案

- 第8号 平成29年度天理市一般会計予算
- 第9号 平成29年度天理市国民健康保険特別会計予算
- 第26号 天理市国民健康保険条例の一部改正について

会 派		創 生			未 来			清 風						会			無会派		
議 案	議 員	鳥山 淳一	仲西 敏	今西 康世	加藤嘉久次	岡部 哲雄	榎堀 秀樹	飯田 和男	堀田 佳照	廣井 洋司	三橋 保長	市本 貴志	東田 匡弘	内田 智之	大橋 基之	中西 一喜	寺井 正則	荻原 文明	結 果
	議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	×	可決
	議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	可決
	議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	可決

賛成…○・反対…×

※議長は表決に加わりません

反対討論

荻原議員：第8号

地方自治体には高齢化や人口減少、格差と貧困、地域経済の衰退等、克服すべき課題が山積しています。貧困と格差をただす「能力に応じて負担する公正・公平な税制」「社会保障・若者・子育て中心の予算」「8時間働けばふつうに暮らせる社会」「大企業と中小企業、大都市と地方などの格差を是正」をめざす予算とするべきです。14億円もの費用を使って進められてきた天理駅前再整備古墳型建造物に頼らない街づくり、地域活性化が必要です。市民の暮らしと福祉・教育のいっそうの充実を図る市政への転換を求めます。保険料は被保険者の負担限度を超えており保険料限度額を85万円から89万円に引き上げは見送り保険料の引き下げを図るべきです。第9号 第26号 保険料賦課限度額85万円を89万円に引き上げることを含むもので、保険料の逆進性を抜本的に改善するものではありません。担税能力を超える保険料は引き下げるべきです。

平成29年第2回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

- 6月8日(木)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議開会
- 6月12日(月)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開
- 6月13日(火) 9時30分 文教厚生委員会
- 6月14日(水) 9時30分 経済産業委員会
- 6月15日(木) 9時30分 総務財政委員会
- 6月19日(月)
 - 9時00分 議会運営委員会
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 6月20日(火)
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 6月22日(木)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
				本会議 11:00		
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 11:00	文教 9:30	経済 9:30	総務 9:30		
18	19	20	21	22	23	24
	本会議 10:00	本会議 10:00		本会議 11:00	(会期)	
25	26	27	28	29	30	

※会 期= 6月23日(金)までの16日間

編集後記

現在、議会改革推進委員会において市の人口減少及び財政状況を踏まえ、議員定数を削減する方向で議論しています。

また、市政倫理条例で、市長・議員の経営する企業に、市発注工事などの受注の辞退を求めた規定について、「一親等以内の親族」への拡大を求める意見を今後6月定例会で条例改正案として出す方針も決定されています。

議員自身が身を削る方向性を示そうとする決意であります。

市民の皆様におかれましては、今後とも本市発展のため市議会に対し、ご意見・ご要望を頂くと共に、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

市議会も新体制となり、皆様のご期待に応えられるよう、努力していく所存です。

(飯田和男)

議会広報編集委員会

委員長	飯田和男	委員	廣井洋司
副委員長	堀田佳照	委員	東田匡弘
委員	加藤嘉久次	委員	仲西敏